

原水協 FAX・メールニュース

18/1/17

青森市大野若宮 165-19

原水爆禁止青森県協議会 Ⅲ・FAX 017-739-8865

新年初の6・9行動、県連絡会も店舗宣伝

2018年最初の6・9行動が4地域でおこなわれました。

八戸 6日、コープあおもりるいけ店前で、5人でチラシを配りながら、署名を訴えました。いつもより足を止めてくれる方が多く、45分で28人の方が署名しました。

青森 9日、新町ダイソー前で、10人の参加で取り組みました。「原発も核燃反対の声も一緒に広げたい」と夫婦で署名した人も。33人が署名に協力しました。

十和田 9日の6・9宣伝には9人が参加し、元気にアピールしました。署名は5人分でした。

弘前 9日夕方、中三デパート前で宣伝。7人参加で、署名8人分でしたが、参加者が署名50人分を持参してくれました。

右上の写真は青森市での6・9行動の様子。(1/9ダイソー前)

右下は県連絡会の宣伝の様子(1/15県民生協アカシア館前で)



「この子の分も書いていいですか」と若いお母さんが赤ちゃんの名前も署名

ヒバクシャ国際署名をすすめる県連絡会は15日、県民生協アカシア館前と館内で今年初の署名宣伝行動をおこないました。赤ちゃんを抱っこして買い物を済ませた若いお母さんが、署名後、「この子の分も書いていいですか？」と赤ちゃんの名前も書いてくれました。この日は32人の署名協力でした。

県連絡会が事務局会議で今後の活動方針を確認

1月11日、ヒバクシャ国際署名をすすめる県連絡会は事務局会議を開催し、「毎月の共同宣伝を継続」「自治体対策を強化」「去年の署名目標の残り1万5千人分を早急にやりきる」などの今後の活動方針を確認しました。共同代表の田中正司さんも元気な姿を見せ、年頭のあいさつをしました。